

# 国語

## (論理国語)

発 番 号	行 名	者 称略 称	教科書の記号・番号	判型	ページ数	検定済年
2	東京書籍	東書	論国 002-901	A 5	342	令和 8 年
2	東京書籍	東書	論国 002-902	A 5	438	令和 8 年
15	三省堂	三省堂	論国 015-901	A 5	446	令和 8 年
15	三省堂	三省堂	論国 015-902	A 5	352	令和 8 年
50	大修館書店	大修館	論国 050-901	A 5	466	令和 8 年
50	大修館書店	大修館	論国 050-902	A 5	346	令和 8 年
104	数研出版	数研	論国 104-901 ◆	A 5	502	令和 8 年
104	数研出版	数研	論国 104-902 ◆	A 5	470	令和 8 年
117	明治書院	明治	論国 117-901 ◆	A 5	438	令和 8 年
143	筑摩書房	筑摩	論国 143-901	A 5	448	令和 8 年
183	第一学習社	第一	論国 183-901	A 5	442	令和 8 年
183	第一学習社	第一	論国 183-902	A 5	320	令和 8 年
183	第一学習社	第一	論国 712	A 5	296	令和 4 年
212	桐原書店	桐原	論国 212-901 ◆	A 5	458	令和 8 年
212	桐原書店	桐原	論国 713 ◆	A 5	428	令和 4 年

※「教科書の記号・番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

論理国語		冊数	15冊
発行者の略称・ 教科書の番号	東書002-901 東書002-902 三省堂015-901 三省堂015-902 大修館050-901 大修館050-902 数研104-901 数研104-902 明治117-901 筑摩143-901 第一183-901 第一183-902 第一712 桐原212-901 桐原713		

## 2 学習指導要領における教科・科目の目標等

### 【国語の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- (3) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

### 【論理国語の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

### 【論理国語の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
[知識及び技能] (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 (2) 情報の扱い方に関する事項 [思考力、判断力、表現力等] A 書くこと ○ 題材の設定 ○ 情報の収集、内容の検討 ○ 構成の検討 ○ 考えの形成、記述 ○ 推敲、共有 B 読むこと ○ 構造と内容の把握 ○ 精査・解釈 ○ 考えの形成、共有	(1)内容の〔思考力、判断力、表現力等〕における授業時数については、次の事項に配慮するものとする。 ア「A書くこと」に関する指導については、50～60単位時間程度を配当するものとし、計画的に指導すること。 イ「B読むこと」に関する指導については、80～90単位時間程度を配当するものとし、計画的に指導すること。 (2)内容の〔思考力、判断力、表現力等〕に関する指導については次の事項に配慮するものとする。 ア「B読むこと」に関する指導については、必要に応じて、近代以降の文章の変遷を扱うこと。 (3)教材については、次の事項に留意するものとする。 ア内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の「B読むこと」の教材は、近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要とされる実用的な文章とすること。また、必要に応じて、翻訳の文章や古典における論理的な文章などを用いることができること。 イ内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域における言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。

### 3 教科書の調査研究

#### (1) 内容

##### ア 調査研究の総括表

調 査 項 目		対象の根拠（目標等との関連）
a	単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	学習指導要領第2章第1節第3款1(1)
b	読書に関する指導	学習指導要領第2章第1節第2款第3 2(3)ア
	その他の項目（各教科共通）	学習指導要領総則、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

##### イ 調査項目の具体的な内容

###### ① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成
- ・ 各単元において、どのような資質・能力を育成できるか見取る。
- b 読書に関する指導

- ・ 読書に関する指導についてどのように扱っているかを見取る。

《その他の項目》（各教科共通）

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

###### ② 調査対象事項を設定した理由等

- a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）

- ・ 学習指導要領の第3款の中で「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて」と言及されているので、論理国語では、各単元（各文章）における「知識及び技能」「書くこと」「読むこと」の指導の場面がどのように設定されているかという視点で質的な調査をする。

- b 読書に関する指導

- ・ 学習指導要領では、「新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めること」を身に付けることができるよう指導することとされている。このことから、読書に関する指導の場面がどのように設定されているかという視点で質的な調査をする。

《その他の項目》（各教科共通）

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取扱いについては、学習指導要領総則に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

#### (2) 構成上の工夫（各教科共通）

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点
- ・ 自立した学習者の育成に資する工夫

教科名	国語
科目名	論理国語

発行者（略称）	東書
教科書番号	論国002-901
教科書名	新編論理国語
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材末に「漢字と語彙」「論理の力」という学習活動が設定され、漢字や語彙についての理解を深めたり、文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めたりできるよう工夫されている。</li> <li>「言葉の扉」として「慣用句の意味」「知っておきたいカタカナ語」「紛らわしい漢字」「的確に表現するために」の4編のコラムが掲載され、言葉、文、文章についての興味・関心を喚起するよう工夫されている。</li> <li>「論理の力」として「つなげる力」「論証する力」「要約する力」「質問する力」の4つの力の育成を目指した特集教材が掲載されている。</li> </ul>
【情報の扱い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「図表の読み取り方」という特集教材が掲載され、複数のグラフを比較したり関連付けたりする活動が設定されている。</li> <li>巻末に「思考ツール・発想の方法」が掲載されている。</li> </ul>
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「資料を整理し、テーマを吟味しよう」「仮説を立てて検証しよう」「短い論文を書いて読み合おう」「資料を活用して論述しよう」という「書くこと」の言語活動を設定し、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえるなど、系統立てて書くことの学習ができるよう工夫されている。</li> </ul>
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化・社会・科学など、様々な分野の評論等を通して、論理的思考力を身に付けることができる教材構成となっている。</li> <li>「文章を読み比べるために」というコラムとともに複数の評論教材を掲載した単元を設定し、文章の読み比べができるよう工夫されている。</li> <li>各教材末に「学習の手引き」「言語活動」が設けられ、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらいを把握するなどの学習ができる構成となっている。</li> </ul>
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ブックガイド」として、書籍を紹介するページが設けられている。</li> </ul>
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>「はじめに言葉がある」という教材の中に、日本人の美意識について述べられた箇所が見られる。</li> </ul>
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>「やさしい日本語」で、災害時の情報発信について取り上げている。</li> </ul>
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「複数の『わたし』」で、アイデンティティに関する話題としてジェンダーを取り上げている。</li> </ul>
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習に関連するコンテンツに、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。</li> </ul>
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインされている。</li> </ul>
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に「この教科書で学習するために」、巻末に「この教科書で学ぶこと」の欄を設け、学習の見通しや振り返りに生かせるよう工夫されている。</li> </ul>

教科名	国語
科目名	論理国語

発行者（略称）	東書
教科書番号	論国002-902
教科書名	精選論理国語

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材末に「漢字と語彙」「論理の力」という学習活動が設定され、漢字や語彙についての理解を深めたり、文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めたりできるよう工夫されている。</li> <li>「思考への扉」として「実在論VS. 唯名論」「言語的相対論」「時代の幕開け」「アポリア」の4編のコラムが掲載され、論理的思考を喚起するよう工夫されている。</li> <li>「論理の力」として「つなげる力」「論証する力」「要約する力」「質問する力」の4つの力の育成を目指した特集教材が掲載されている。</li> <li>「評論読解へのアプローチ」として、表現編、テーマ編、用語編の項目を設け、読解や論証のための基本的な知識を学ぶことができるよう工夫されている。</li> </ul>
【情報の扱い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「探究編」において、「書くこと」の学習に必要な情報の収集、整理・分析に関する活動が設定されている。</li> <li>巻末に「思考ツール」が掲載されている。</li> </ul>
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「探究編」において、「資料を整理し、テーマを吟味する」「仮説を立てて検証する」「社会的な話題に関する文章を読み、短い論文を書く」「資料を活用して論述する」という「書くこと」の言語活動を設定し、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえるなど、系統立てて書くことの学習ができるよう工夫されている。</li> </ul>
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語・文化・社会・科学・哲学など、様々な分野の評論等を通して、論理的思考力を身に付けることができる教材構成となっている。</li> <li>「文章を読み比べるために」というコラムとともに複数の評論教材を掲載した単元を設定し、文章の読み比べができるよう工夫されている。</li> <li>各教材末に「学習の手引き」「言語活動」が設けられ、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を把握するなどの学習ができる構成となっている。</li> </ul>
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の冒頭で出典紹介と共に巻末の「読書案内」のページが掲載され、「読書案内」に関連する書籍が紹介される構成になっている。</li> </ul>
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>「日本人の美意識」の中で、「きよし」「うつくし」という日本語を基に、西洋の美と比較しつつ、日本人の美意識について述べている。</li> <li>「鏡の中の現代社会」で、他国の文化を相対化させて社会を捉えることを取り上げている。</li> </ul>
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>「環境問題と孤立した個人」で、マイノリティに属する人々のアイデンティティやニーズについて言及している。</li> </ul>
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>「やさしい日本語」で、災害時の情報発信について取り上げている。</li> </ul>
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習に関連するコンテンツに、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。</li> </ul>
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインされている。</li> </ul>
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に「この教科書で学習するために」、巻末に「この教科書で学ぶこと」の欄を設け、学習の見通しや振り返りに生かせるよう工夫されている。</li> </ul>

教科名	国語
科目名	論理国語

発行者（略称）	三省堂
教科書番号	論国015-901
教科書名	精選 論理国語 改訂版

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材末に「語彙と漢字」という学習活動が設定され、語彙や漢字についての理解を深めることができるよう工夫されている。</li> <li>「資料編」に、「表現の技法」が掲載されており、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>
【情報の扱い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に、「情報の読み方・扱い方」「実用的文章の特徴」が配置されるとともに、「資料編」に、「調査・情報収集」「論文・レポートの書き方」など、情報を重要度や抽象度によって整理する方法に関する資料が掲載されている。</li> </ul>
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材末に、文章理解を促す「課題A」と主体的・対話的に理解を深める「課題B」とが設定されており、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえるなど、系統立てて「書くこと」の学習ができるよう工夫されている。</li> <li>各単元末に「学びを広げる」という主体的・対話的に学びを深められる言語活動が設けられており、小論文やレポートの形式で文章を書くことで、書き手の立場や論点などの様々な観点から「書くこと」の学習ができるように工夫されている。</li> </ul>
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語・芸術・文化・社会・科学など、様々な分野の評論等を通して、論理的思考力を身に付けることができる教材構成となっている。</li> <li>各教材末に文章理解に関する「課題A」と主体的・対話的な学習活動に関する「課題B」が設けられ、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながらい旨を把握するなどの学習ができる構成となっている。</li> <li>各単元末に「学びを広げる」「参考」として、多くの論理的文章が掲載されており、単元のテーマへの理解をさらに深めることができるよう工夫されている。</li> <li>「資料編」に、「現代社会を読み解くために」が掲載されており、必要な情報を関連付けて自分の考えを深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>

b 読書に関する指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書活動を推進できるよう、単元で取り扱った教材と関連のある書籍を紹介する「ブックガイド」が各単元末に設けられている。</li> </ul>
------------	--

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>「日本の文化を背負う、狂言を背負う、劇場を背負う」という文章で我が国の伝統や文化が取り上げられ、文化の継承についての考えを深めることができるよう工夫されている。</li> <li>「『文化が違う』とは何を意味するのか？」で、「反・自文化中心的な文化相対主義」という考え方を提唱し、文化を理解することの必要性を述べている。</li> </ul>
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>「忘れられる権利」で、個人情報の保護を人権として保障することを取り上げている。</li> </ul>
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>「社会的包摂と震災」で、自然災害と社会の在り方について取り上げている。</li> </ul>
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>「スポーツとナショナリズム」で、オリンピックの理念に言及している。</li> </ul>
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「言葉がつくる女と男」で、言葉とアイデンティティの関係について取り上げられている。</li> <li>「いつもの言葉を哲学する」で、ジェンダーバイアスを扱っている。</li> </ul>

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習に役立つ資料に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。</li> </ul>
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</li> <li>文字にUDフォントが使用されている。</li> </ul>
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に「この教科書で学習するために」を掲載し、学び方を示すとともに、「この教科書で身につく言葉の力」の一覧で、身につける資質や能力が示されており、取り組み方が説明されている。</li> <li>単元の末尾に「単元の振り返り」が設けられており、学習の振り返りと自己評価ができるよう工夫されている。</li> </ul>

教科名	国語
科目名	論理国語

発行者（略称）	三省堂
教科書番号	論国015-902
教科書名	新 論理国語 改訂版
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「的確に伝える力」「立場の異なる読み手を想定する力」「文章や論理の構成を捉える力」等を身につけるための言語活動を設定し、文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>
【情報の扱い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教材ごとに、情報を重要度や抽象度によって整理する方法や推論の仕方などについて理解を深めることができる学習活動が設けられている。</li> <li>・「資料編」に「『思考の方法』一覧」「『思考ツール』一覧」が掲載されている。</li> </ul>
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に設定されている全ての単元に複数の文章教材が配置され、各教材の冒頭に「学習活動」、教材末に「情報を整理するために」が設定されている。</li> <li>・各単元末に「テーマを深めるために」「表現するために」「探究の視点」「学びを深める」などとしてコラムや文章が掲載されるとともに「情報を整理する」「レポートを書く」「説得力のある文章を書く」などの「書くこと」の学習活動を行う教材が掲載されており、系統立てて「書くこと」の学習ができるよう工夫されている。</li> <li>・各単元末に「振り返る」として、「書く」という項目が設けられ、単元ごとの振り返りにおいて書く学習活動が設けられている。</li> </ul>
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語・芸術・文化・社会・科学など、様々な分野の評論等を通して、論理的思考力を身に付けることができる教材構成となっている。</li> <li>・各教材の冒頭に「学習活動」、教材末に「情報を整理するために」が設定されるとともに、単元末に「テーマを深めるために」「読解するために」「探究の視点」「学びを深める」などとしてコラムや文章を掲載し、「読みナビ」という「読むこと」の課題が設定され、テーマの理解や読みを深めることができるよう工夫されている。</li> <li>・各単元末に「振り返る」として「読む」という項目が設けられ、単元ごとにテーマについて整理する学習活動が設けられている。</li> </ul>
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとに「ブックガイド」が掲載され、「表現にかかわる本」「教材にかかわる本」「単元のテーマにかかわる本」が紹介されている。</li> </ul>
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「『文化が違う』とは何を意味するのか？」で、「反・自文化中心的文化相対主義」という考え方を提唱し、文化を理解することの必要性を述べている。</li> </ul>
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「誰かの靴を履いてみること」で、子どもの権利について取り上げている。</li> </ul>
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「それぞれのしっくりくる言葉」で、言葉の背景にある性別意識に言及している。</li> <li>・「周囲の支えが時代を作る」で、女性の社会進出について取り上げている。</li> <li>・「多様な視点から考える」で、ジェンダーの視点で世界を捉えることが述べられている。</li> <li>・小論文を書く学習活動やコラムでジェンダーをテーマとして取り上げている。</li> </ul>
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の参考となる情報に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。</li> </ul>
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</li> <li>・文字にUDフォントが使用されている。</li> </ul>
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に「この教科書で学習するために」を掲載し、学び方を示すとともに、「この教科書で身につく言葉の力」の一覧で、身につける資質や能力が示されており、取り組み方が説明されている。</li> <li>・単元の末尾に「単元の振り返り」が設けられており、学習の振り返りと自己評価ができるよう工夫されている。</li> </ul>

教科名	国語
科目名	論理国語

発行者（略称）	大修館
教科書番号	論国050-901
教科書名	論理国語 改訂版

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材末に「語彙・表現」という学習活動が設定され、語彙や表現の特徴についての理解を深めることができるよう工夫されている。</li> <li>巻末の「知の工具箱」に「論理的に考える」「文章を書く」として、「具体と抽象」「比較・対比の視点」「段落と構成」など、論理的思考や文章上の論理展開について理解できるよう工夫がされている。</li> </ul>
【情報の扱い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻末の「知の工具箱」に「課題を探究する」として、「情報収集の方法」「情報整理の方法」「著作権と引用」に関する教材が掲載されている。</li> </ul>
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元末に「定義を書く」「根拠と主張をつなぐ」「具体的・抽象的に書く」など、「書くこと」の学習課題が設けられ、系統立てて「書くこと」の学習ができるよう工夫されている。</li> <li>巻末の「知の工具箱」に「文章を書く」という項目が設定されていて、「明確な文と接続表現」や「段落と構成」など文章表現について理解を深めることができる内容が掲載されている。</li> </ul>
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語・文化・歴史・社会・科学など、様々な分野の評論等を通して、論理的思考力を身に付けることができる教材構成となっている。</li> <li>各教材末に、文章理解に関する「内容把握」と、協働的な学習に関する「考察・発展」という学習活動が設定され、本文の考察を深めたり、発展的に自分の考えを述べたりすることができるよう工夫されている。</li> </ul>
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材末に「著作文内」として、筆者の他の著書が紹介されている。</li> <li>各単元末に「テーマと読書」として、コラムを掲載するとともに、「広がる読書」として関連する書籍が紹介されている。</li> </ul>
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>「余白の美学」の中で、「日本の美意識」について言及している。</li> <li>「コミュニティから見た日本」の中で、社会的孤立度について、国際比較を具体例にしながら日本文化の特色に言及している。</li> <li>「対話の精神」の中で、日本の文化に根差す日本人のコミュニケーションの特徴について言及している。</li> </ul>
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	「メディアと表象」で、ジェンダーとメディアの関係について取り上げている。

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	学習に関連する資料や動画に二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	記載なし
自立した学習者の育成に資する工夫	巻頭に「この教科書で身につく力」を一覧表で示すとともに、「この教科書で学習するために」で学び方を示すことで学習者が目標をもって学ぶことができるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	論理国語

発行者（略称）	大修館
教科書番号	論国050-902
教科書名	新編 論理国語 改訂版

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材末に「構成をとらえる」「語句と漢字」という学習活動が設定され、漢字や語彙についての理解を深めたり、文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めたりすることができるよう工夫されている。</li> <li>「論理の窓」として、「『論理』とは何か」「さまざまな具体化」「対比を使いこなす」など、11編のコラムが掲載されている。</li> </ul>
【情報の扱い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「統計資料を活用する」という単元が設定され、資料からデータを読み取り、適切に活用する力が身に付けられるよう工夫されている。</li> <li>巻末の「情報収集の方法」では情報収集の基本がまとめられていて、情報と情報を整理し、情報の推論の仕方について理解が深められるような工夫がされている。</li> <li>巻末に「発想法・思考法」「論理をつかひこなす」という項目が設けられ、思考ツールや論理展開が図式化されて掲載されている。</li> </ul>
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「論理的に書く—小論文①」「レポートを書く」「社会に向かって」（志望先への提出書類の書き方）「問いを深めて書く—小論文②」の各単元で、目的に応じた記述を学ぶことができるよう工夫されている。</li> <li>各単元に、「フォーカス」として目的に沿った具体的な書き方を示す学習課題が配置され、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から「書くこと」の学習ができるように工夫されている。</li> </ul>
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語・文化・歴史・社会・科学など、様々な分野の評論等を通して、論理的思考力を身に付けることができる教材構成となっている。</li> <li>各教材末に、文章理解に関する「構成をとらえる」「内容をつかむ」と、協働的な学習に関する「読みを深める」という学習活動が設定され、本文の考察を深めたり、発展的に自分の考えを述べたりすることができるよう工夫されている。</li> <li>各単元末に「『論理』への第一歩」「対比を使って主張する」「比べて読もう」など、単元のテーマを踏まえた発展的な教材が掲載され、読みを深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材末に「読んでみよう」として、筆者の他の著書が紹介されている。</li> <li>「読書の広場」では異なったジャンルの三つの作品を掲載して、読書に対して新しい考え方や多様なものの見方・価値観に触れられる工夫がされている。また、「読書で新しい世界を」では、多様なジャンルの作品を紹介し、読書に対する興味関心を高める工夫がされている。</li> </ul>
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>「対話の精神」で、日本と他国を比較して、異なる価値観への向き合い方を取り上げている。</li> <li>「和の思想、間の文化」という文章の中で、「古今和歌集」や「源氏物語」を具体例に日本固有の文化について言及されている。</li> </ul>
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	学習に関連する資料や動画に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	記載なし
自立した学習者の育成に資する工夫	巻頭に「この教科書で身につく力」を一覧表で示すとともに、「この教科書の構成」により学び方を示すことで、学習者が目標をもって学ぶことができるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	論理国語

発行者（略称）	数研
教科書番号	論国104-901◆
教科書名	増補新版 論理国語
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材末に「ことばと表現」という学習活動が設定され、言葉の意味や用法等について理解を深められるよう工夫されている。</li> <li>「ズームアップ」として「芸術作品の『多面性』」「近代科学の功罪」「文化相対主義」など、多数のコラムが掲載され、論理的思考を喚起するよう工夫されている。</li> <li>「チェックポイント」として「主張の明確化」「定義と抽象化」「文体と構成」「語彙」などが設定され、論理展開の仕方などに対する理解が深められる工夫がされている。</li> </ul>
【情報の扱い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「チェックポイント」として「情報の視覚化」「仮説と検証」「主張とその前提」「多面的な視点」などが設定され、思考ツールや前提条件などについて理解できるよう工夫されている。</li> <li>「資料を分析して情報を整理する」といった単元が設定され、情報を整理してまとめる力を身に付けることができるよう工夫されている。</li> </ul>
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「言語活動の実践」では、資料を比較・分析し、関連する資料を収集したり、情報を整理したりする学習活動を通して、文章の構成や展開、表現の仕方を吟味しながら書くことができるよう工夫されている。</li> <li>「探究の扉」としてテーマに関連する複数の文章を読み、比較・考察を踏まえて論述する学習活動が設定されている。</li> <li>「表現編」の実践として、報告書や小論文を書く活動が設定されている。</li> </ul>
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術・文化・社会・科学・哲学など、様々な分野の評論等を通して、論理的思考力を身に付けることができる教材構成となっている。</li> <li>各教材末に「学習」「言語活動」として、内容理解に関する活動や協働的な学習に関する活動が設定され、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することなどの学習ができるような構成となっている。</li> <li>各単元に「チェックポイント」として基本的な事項を確認する教材を配したり、「ズームアップ」として読みを深めるコラムが掲載されたりしている。</li> <li>「探究の扉」として比べ読みのための文章が掲載されている。</li> <li>「解説」として思考ツール、関連するコラムや書籍紹介、法律とその解説などが掲載されている。</li> </ul>
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ズームアップ」では単元ごとのテーマに沿って関連書籍が紹介されている。</li> <li>巻末には「評論テーマの理解を深める」というページを配置して参考文献とともに各テーマについて学習者の興味関心を高めたり、知識を深めたりする工夫がされている。</li> </ul>
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>「『いき』の美学」の中で、日本文化に根差す「いき」という考え方について言及している。</li> <li>「『文化が違う』とは何を意味するのか？」で、「反・自文化中心的な文化相対主義」という考え方を提唱し、文化を理解することの必要性を述べている。</li> </ul>
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	「他者の靴を履く」で、偏見や人種差別を取り上げている。
安全・防災や自然災害の扱い	「レポートの内容・構成を考える」で資料の例としてとしてハザードマップが用いられている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	理解を深める資料や関連するウェブサイトを紹介するサイトに、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	カラーユニバーサルデザインに配慮されている。
自立した学習者の育成に資する工夫	巻頭に「領域別 学習の指針」、「この教科書で学習するために」を配置し、各教材での学習項目や活動、学び方について確認することができるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	論理国語

発行者（略称）	数研
教科書番号	論国104-902◆
教科書名	高等学校 論理国語
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使いに関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材末に「ことばと表現」という学習活動が設定され、言葉の意味や用法等について理解を深められるよう工夫されている。</li> <li>「ズームアップ」として「芸術作品の『多面性』」「近代科学の功罪」「文化相対主義」など、多数のコラムが掲載され、論理的思考を喚起するよう工夫されている。</li> <li>「チェックポイント」として「主張の明確化」「定義と抽象化」「文体と構成」「語彙」などが設定され、論理展開の仕方などに対する理解が深められるよう工夫されている。</li> </ul>
【情報の扱いに関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「チェックポイント」として「情報の視覚化」「仮説と検証」「多面的な視点」「主張とその前提」などが設定され、思考ツールや前提条件などについて理解できるよう工夫されている。</li> <li>「資料を分析して情報を整理する」といった単元が設定され、情報を整理してまとめる力を身に付けることができるよう工夫されている。</li> </ul>
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「言語活動の実践」では、資料を比較・分析し、関連する資料を収集したり、情報を整理したりする学習活動を通して、文章の構成や展開、表現の仕方を吟味しながら書くことができるよう工夫されている。</li> <li>「探究の扉」としてテーマに関連する複数の文章を読み、比較・考察を踏まえて論述する学習活動が設定されている。</li> <li>「表現編」の実践として、報告書や小論文を書く活動が設定されている。</li> </ul>
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術・文化・社会・科学・哲学など、様々な分野の評論等を通して、論理的思考力を身に付けることができる教材構成となっている。</li> <li>各教材末に「学習」「言語活動」として、内容理解に関する活動や協働的な学習に関する活動が設定され、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することなどの学習ができるような構成となっている。</li> <li>各単元に「チェックポイント」として基本的な事項を確認する教材を配したり、「ズームアップ」として読みを深めるコラムが掲載されたりしている。</li> <li>「着眼」として短い文章を掲載し、論理的文章を読むうえで重要となる視点について理解を深めることができるよう工夫されている。</li> <li>「解説」として思考ツール、関連するコラムや書籍紹介、法律とその解説などが掲載されている。</li> </ul>
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ズームアップ」では単元ごとのテーマに沿って関連書籍が紹介されている。</li> <li>巻末には「評論テーマの理解を深める」というページを配置して参考文献とともに各テーマについて学習者の興味関心を高めたり、知識を深めたりする工夫がされている。</li> </ul>
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>「『いき』の美学」の中で、日本文化に根差す「いき」という考え方について言及している。</li> <li>「感じる歴史」では自国と他国について文化や歴史の違いを比較しながらそれぞれの文化や社会に言及し、文化の尊重や社会の変化に対する自分の考えを述べられるように工夫されている。</li> <li>「『文化が違う』とは何を意味するのか？」で、「反・自文化中心的文化相対主義」という考え方を提唱し、文化を理解することの必要性を述べている。</li> </ul>
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>「他者の靴を履く」で、偏見や人種差別を取り上げている。</li> <li>「環境と心の問題」で、マイノリティーに属する人々のアイデンティティやニーズについて言及し</li> </ul>
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>「レポートの内容・構成を考える」で資料の例としてハザードマップが用いられている。</li> </ul>
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解を深める資料や関連するウェブサイトを紹介するサイトに、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。</li> </ul>
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</li> </ul>
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に「領域別 学習の指針」、「この教科書で学習するために」を配置し、各教材での学習項目や活動、学び方について確認することができるよう工夫されている。</li> </ul>

教科名	国語
科目名	論理国語

発行者（略称）	明治
教科書番号	論国117-901◆
教科書名	新 精選 論理国語

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材末に「言葉と表現」という学習活動が設定され、言葉の意味や用法等について理解を深められるよう工夫されている。</li> <li>「表現の窓」として多数のコラムが掲載されており、論理展開の仕方などに対する理解が深められる工夫がされている。</li> </ul>
【情報の扱い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「表現の窓」「論理の窓」といったコラムの中で、「主張を支える良質なデータ」「怪しい情報にだまされない」が設けられ、情報の扱い方について理解を深められる工夫がされている。</li> <li>「付録」に、「探究的な学習」として、情報を重要度や抽象度によって整理する方法や推論の仕方などについて理解を深めることができるような学習課題が設けられている。</li> </ul>
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「書くこと」として設定された単元にそれぞれ複数の文章教材が配置され、各教材末に「学習のポイント」「言語活動」が設定されており、系統立てて「書くこと」の学習ができるよう工夫されている。</li> <li>「表現の窓」として「段落を単位に書いてみよう」など、構成を意識した論述に役立つコラムが掲載されている。</li> </ul>
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化・芸術・社会・科学・哲学など、様々な分野の評論等を通して、論理的思考力を身に付けることができる教材構成となっている。</li> <li>各教材末に「学習のポイント」「言語活動」として、内容を理解し、協働的な学習活動を行う課題が設定されている。</li> <li>「論理の窓」として「三部構成を意識しよう」「批判的に読む」など読解に役立つコラムが掲載されている。</li> </ul>
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「読書のすすめ」といったコラムが掲載され「関連書籍」が紹介されている。</li> </ul>
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>『「間」の感覚』で、絵画や建築における日本と西洋の違いを例に、「間」の理解が日本文化の理解のカギであることに言及している。</li> <li>「感じる歴史」では自国と他国について文化や歴史の違いを比較しながらそれぞれの文化や社会に言及し、文化の尊重や社会の変化に対する自分の考えを述べられるように工夫されている。</li> <li>「水墨画入門」で、日本文化の美的感覚を取り上げている。</li> <li>「近代都市のレトリック」で、西洋の都市と比較しながら、都市の構造上の江戸の特徴に言及している。</li> </ul>
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>「現代社会における物語」で、震災後の心理について取り上げている。</li> </ul>
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> <li>『「家族の幸せ」の経済学』で、男性の育児休業取得率を取り上げている。</li> <li>「情報化社会とジェンダーの未来」で、ジェンダー問題を情報化と関連させて取り上げている。</li> </ul>

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習に関連する資料を掲載したサイトに、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。</li> </ul>
ユニバーサルデザインの視点	記載なし
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に「領域別教材一覧」、「この教科書で学習するに当たって」を配置し、各単元でのねらいや学習内容、学び方について確認することができるよう工夫されている。</li> </ul>

教科名	国語
科目名	論理国語

発行者（略称）	筑摩
教科書番号	論国143-901
教科書名	論理国語 改訂版
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材末に「構成」という学習活動が設定され、文や文章の接続の仕方などの理解を深められるよう工夫されている。</li> <li>「評論入門一」「評論入門二」「生成A Iとの付き合い方」「データの読み方」などのコラムが掲載されており、論理展開の仕方や言葉の持つ働きに対する理解が深められる工夫がされている。</li> </ul>
【情報の扱い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「実践」として「資料や情報を吟味して、自分の考えにつなげよう」という学習活動が設定されている。</li> <li>「データの読み方」というコラムが掲載されている。</li> </ul>
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「書くこと」として設定された単元にそれぞれ複数の文章教材が配置され、各教材末に「課題」が示され、「言語活動」として「書くこと」の学習活動が設定されている。</li> <li>「実践」として「レポートを書こう」「自分の経験や考えを効果的に書いてみよう」「論文を読んで、これまで行われてきた研究をまとめよう」という具体的な書き方を示した教材が掲載されている。</li> </ul>
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統・文化・歴史・社会・科学など、様々な分野の評論等を通して、論理的思考力を身に付けることができる教材構成となっている。</li> <li>各教材末に「課題」が示され、「構成」「読解」「言語活動」として「読むこと」の学習活動が設定されている。</li> <li>「実践」として「多様な文章に触れよう—法令文・新聞記事—」「資料や情報を吟味して、自分の考えにつなげよう」「複数の文章を読み比べてみよう」という教材が掲載され、学びを深めることができるよう工夫されている。</li> <li>「羅針盤」というコラムを掲載し、テーマに関連付けてより深く思考を促すよう工夫されている。</li> </ul>
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻末に「読書案内」が掲載され、各単元と関連する書籍が紹介されている。</li> </ul>
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>「模倣と『なぞり』」で、西欧型のレッスンと比較しながら、日本の伝統的な稽古法である「形」の模倣と「型」の習得について言及している。</li> </ul>
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分自身を語るために」で、偏見やマイノリティの問題を取り上げている。</li> </ul>
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>「聞く者たちの文学、忘却に抗するための会話」で、筆者の被災経験が述べられている。</li> </ul>
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「変貌する聖女」「男の絆・女たちの沈黙」で、性別に関する固定的な見方を取り上げている。</li> <li>「『ジェンダーギャップ』について考えよう」という学習活動が設定されている。</li> </ul>
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習に関連する資料や動画、関連するウェブサイトを紹介したサイトに、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。</li> </ul>
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインフォントが採用されている。</li> </ul>
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に「この教科書で育成する資質・能力」、「この教科書で学習するために」、各単元の冒頭に「単元の目標」を配置し、学習者が見通しをもって学ぶことができるよう工夫されている。</li> </ul>

教科名	国語
科目名	論理国語

発行者（略称）	第一
教科書番号	論国183-901
教科書名	高等学校 改訂版 論理国語

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材末に「言葉の手引き」という学習活動が設定され、漢字や語彙についての理解を深めたり、文章表現の特徴を考えたりできるよう工夫されている。</li> <li>教材ごとに「読みを広げる」というコラムが掲載されており、論理的思考を喚起するよう工夫されている。</li> </ul>
【情報の扱い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「表現編」において、情報の整理・分析から表現に至る学習活動が設定されている。</li> <li>「読解のレッスン」として、主張と根拠、具体と抽象といった情報と情報との関係や、論理展開の基本となる推論について基礎的な知識を得ることができるよう工夫されている。</li> <li>「実用文」として「情報を使いこなす」「規則の意味を解釈する」といった学習活動が設定され、情報の扱い方について理解を深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「表現編」に「レポートを書く」「小論文を書く」の二つの単元が設定され、「書いたレポートを評価・分析して修正する」「資料を読んで情報を整理する」など具体的なテーマを示し、それぞれ体系的に「書くこと」の言語活動ができるよう工夫されている。</li> </ul>
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化・社会・科学・哲学など、様々な分野の評論等を通して、論理的思考力を身に付けることができる教材構成となっている。</li> <li>各教材末に「学習の手引き」「言語活動の手引き」として内容を理解し、協働的な学習活動を行う課題が設定されている。</li> <li>各単元に「読みを広げる」という単元のテーマに関連したコラムが掲載され、読みを深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材末に「読みを広げる」が掲載され、単元と関連する書籍が紹介されている。</li> </ul>
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国と他国との違いが「オノマトベとは何か」「『お母さん』の用法」という文章で取り上げられ、オノマトベや「母」という語の特徴を示すことで、言語にはそれぞれ文化的背景が関わっているということへの理解を促す工夫がされている。</li> </ul>
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「『お母さん』の用法」「ケアの倫理」で、ジェンダーバイアスを取り上げている。</li> </ul>

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解を深めるための資料に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。</li> </ul>
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザイン（カラーバリアフリーを含む）に配慮されている。</li> </ul>
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に「この教科書で養う国語の力—観点別教材一覧」、「教科書の構成と使い方」を掲載し、見直しをもって学習ができるよう工夫されている。</li> </ul>

教科名	国語
科目名	論理国語

発行者（略称）	第一
教科書番号	論国183-902
教科書名	高等学校 改訂版 標準論理国語

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・各教材末に「言葉の手引き」という学習活動が設定され、漢字や語彙についての理解を深めたり、文章表現の特徴を考えたりできるよう工夫されている。
【情報の扱い方に関する事項】	・「読解のレッスン」として、主張と根拠、具体と抽象といった情報と情報との関係や、論理展開の基本となる推論について基礎的な知識を得ることができるよう工夫されている。 ・「情報を使いこなす」といった学習活動が設定され、情報の扱い方について理解を深めることができるよう工夫されている。 ・「小論文を書く—実践」で、情報の整理・分析から表現に至る学習活動が設定されている。
【書くこと】	・「小論文を書く—基本」「レポートを書く」「小論文を書く—実践」といった単元が設定され、「文章の完成度を高める」「書いたレポートを評価・分析して修正する」「資料を読んで情報を整理する」など具体的なテーマを示し、それぞれ体系的に「書くこと」の言語活動ができるよう工夫されている。
【読むこと】	・文化・社会・科学・哲学など、様々な分野の評論等を通して、論理的思考力を身に付けることができる教材構成となっている。 ・各教材末に「学習の手引き」「言語活動の手引き」として内容を理解し、協働的な学習活動を行う課題が設定されている。 ・巻末に「読みを広げる」というコラムが掲載され、読みを深めることができるよう工夫されている。
b 読書に関する指導	
	・巻末に「読みを広げる」が掲載され、各単元と関連する書籍が紹介されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・「『日本文化』とは？という問い」で、我が国の伝統や文化について言及している。 ・「名所絵はがきの東西」で、浮世絵や観光名所絵はがきから、日本と西洋の自然観の違いに言及している。 ・「コミュニケーションの文化」で、国や民族それぞれにコミュニケーションの文化があることに触れ、日本のコミュニケーションの文化が少数派であることの認識の必要性に言及している。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・理解を深めるための資料に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	・ユニバーサルデザイン（カラーバリアフリーを含む）に配慮されている。
自立した学習者の育成に資する工夫	・巻頭に「この教科書で養う国語の力—観点別教材一覧」、「教科書の構成と使い方」を掲載し、見直しをもって学習ができるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	論理国語

発行者（略称）	第一
教科書番号	論国712
教科書名	高等学校 標準論理国語

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材末に「言葉の手引き」という学習活動が設定され、漢字や語彙についての理解を深めたり、文章表現の特徴を考えたりできるよう工夫されている。</li> <li>「論理研究」として「推論とは何か」「帰納法のワナ」という二つの文章を掲載し、論理的思考を喚起するよう工夫されている。</li> </ul>
【情報の扱い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「表現編」において、情報の整理・分析から表現に至る学習活動が設定されている。</li> </ul>
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「表現編」に「レポートを書く」「小論文を書く」の二つの単元が設定され、「資料を集めて情報を整理する」「得られた情報を分析して報告するテーマを絞り込む」「構成を考えてレポートを書く」「書いたレポートを評価・分析して修正する」など、それぞれ情報の収集・整理、分析、表現、推敲という流れで、体系的に「書くこと」の言語活動ができるよう工夫されている。</li> </ul>
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化・社会・科学・哲学など、様々な分野の評論等を通して、論理的思考力を身に付けることができる教材構成となっている。</li> <li>各教材末に「学習の手引き」「活動の手引き」として内容を理解し、協働的な学習活動を行う課題が設定されている。</li> <li>各単元に「評論のしるべ」という単元のテーマに関連したコラムが掲載され、読みを深めることができるよう工夫されている。</li> <li>「読み比べ」として2単元、「実用文」として1単元が配置されている。</li> </ul>
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻末に「読書のしるべ」が掲載され、各単元と関連する書籍が紹介されている。</li> </ul>
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>「名所絵はがきの東西」で、浮世絵や観光名所絵はがきから、日本と西洋の自然観の違いに言及している。</li> <li>「コミュニケーションの文化」で、国や民族それぞれにコミュニケーションの文化があることに触れ、日本のコミュニケーションの文化が少数派であることの認識の必要性に言及している。</li> </ul>
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>「新しい発見『新しい地球観』」「生活の中の表現 読み比べ」「人間と文化『バラと通貨はどう違う？』」「生への思索『経験の教えについて』」「資料を集めて情報を整理する」「得られた情報を分析して報告するテーマを絞り込む」について、関連するウェブサイトを紹介したサイトに、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。</li> </ul>
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザイン（カラーバリアフリーを含む）に配慮されている。</li> </ul>
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に「教科書の構成と使い方」を掲載し、各項目のねらいと育成することを旨とする力を示している。また、各単元冒頭に学習目標や領域別の学習項目を示し、見通しをもって学ぶことができるよう工夫されている。</li> </ul>

教科名	国語
科目名	論理国語

発行者（略称）	桐原
教科書番号	論国212-901◆
教科書名	探求 論理国語 改訂版

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材末に「表現」という学習活動が設定され、語彙についての理解を深めたり、文章表現の特徴を考えたりできるよう工夫されている。</li> <li>「評論解析A」「評論解析B」「評論解析C」という単元が掲載され、論理展開の仕方などに対する理解が深められるよう工夫されている。</li> </ul>
【情報の扱い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材末の「学習の手引き」の「表現」、「読解」の中の「構成〔見解の根拠〕」「構成〔対比構造〕」「構成〔具体例〕」、「評論解析A」「評論解析B」「評論解析C」の単元の中で根拠や対比構造、具体例と主張との関係を捉えさせ、論理の展開から推論を想定させる設問がある。主張と根拠、論の展開や構成を捉えるなど、主張とその前提や反証、情報と情報との関係、情報を抽象度などにより階層化する捉え方が身につくよう、工夫されている。</li> </ul>
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「実社会」という単元を二つ配置し、それぞれ「議事録を作る」「観光地紹介を書く」「プレゼンテーションソフトを活用して発表する」「志望理由を書く」などの目的に応じて具体的な書き方を示した教材が掲載されている。</li> <li>「書く一問いを生む」「書く一問いに答える」という二つの単元が配置され、文章教材と、問いの設定、小論文、レポートの執筆といった「書くこと」の言語活動を行う「『書くこと』への挑戦」「演習」が設定されている。</li> </ul>
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化・芸術・哲学・政治・認識・歴史・自己・AIなど、様々な分野の評論等を通して、論理的思考力を身に付けることができる教材構成となっている。</li> <li>各教材末に「学習の手引き」の「読解」「活動」として、内容を理解し、協働的な学習活動を行う課題が設定されている。</li> <li>「知の深化」として文章教材が掲載され、関連教材との比べ読みができるよう工夫されている。</li> <li>単元のテーマと関連した「評論コラム」が6編掲載され、読みを深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>

b 読書に関する指導	
	各教材の筆者と出典紹介の後で、「次の一冊」として関連する書籍を紹介している。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>「言葉の〈意味〉と〈表徴〉」で、「〈内容的意味〉を持った言葉」と「〈イメージ〉を呼び起こし盛り上げていく言葉」という「言語使用の二種類のもの」を取り上げ、伝統的な日本文化における〈表徴〉性に言及している。</li> <li>「霧の風景」で、式子内親王の和歌や長谷川等伯の「松林図」を取り上げながら、日本人の存在論、感覚論に触れ、風景の危機、人間の危機に言及している。</li> </ul>
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	パラスポーツであるポッチャを取り上げ、障害の程度によるクラス分け等のルールについて取り上げている。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	学習に関連した資料や動画に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	記載なし
自立した学習者の育成に資する工夫	巻頭に「各教材の活動等一覧」、「この教科書で学習するために」を掲載し、学び方や各教材での活動と各領域との関係を示すことで見直しをもって学ぶことができるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	論理国語

発行者（略称）	桐原
教科書番号	論国713◆
教科書名	探求 論理国語

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材末に「表現」という学習活動が設定され、語彙についての理解を深めたり、文章表現の特徴を考えたりできるよう工夫されている。</li> <li>「評論解析A」「評論解析B」「評論解析C」という特集教材が掲載され、論理展開の仕方などに対する理解が深められるよう工夫されている。</li> </ul>
【情報の扱い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材末の「学習の手引き」の「表現」、「読解」の中の「構成〔見解の根拠〕」「構成〔対比構造〕」「構成〔具体例〕」、「評論解析A」「評論解析B」「評論解析C」の単元の中で根拠や対比構造、具体例と主張との関係を捉えさせ、論理の展開からそこから想定される推論を想定させる設問がある。主張と根拠、論の展開や構成を捉えるなど、主張とその前提や反証、情報と情報との関係、情報を抽象度などにより階層化する捉え方が身につくよう、工夫されている。</li> </ul>
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>「実社会」という単元を二つ配置し、それぞれ「議事録を作る」「観光地紹介を書く」「プレゼンテーションソフトを活用して発表する」「志望理由を書く」などの目的に応じて具体的な書き方を示した教材が掲載されている。</li> <li>「書く一問いを生む」「書く一問いに答える」という二つの単元が配置され、文章教材と、問いの設定、小論文、レポートの執筆といった「書くこと」の言語活動を行う「書くこと」への挑戦「演習」が設定されている。</li> </ul>
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化・芸術・哲学・政治・認識・歴史・自己など、様々な分野の評論等を通して、論理的思考力を身に付けることができる教材構成となっている。</li> <li>各教材末に「学習の手引き」の「読解」「活動」として、内容を理解し、協働的な学習活動を行う課題が設定されている。</li> <li>「知の深化」として三つの文章教材が掲載され、関連教材との比べ読みができるよう工夫されている。</li> <li>単元のテーマと関連した「評論コラム」が5編掲載され、読みを深めることができるよう工夫されている。</li> </ul>

b 読書に関する指導	
	各教材の筆者と出典紹介の後で、「次の一冊」として関連する書籍を紹介している。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>「言葉の〈意味〉と〈表徴〉」で、「〈内容的意味〉を持った言葉」と「〈イメージ〉を呼び起こし盛り上げていく言葉」という「言語使用の二種類のもの」を取り上げ、伝統的な日本文化における〈表徴〉性に言及している。</li> <li>「霧の風景」で、式子内親王の和歌や長谷川等伯の「松林図」を取り上げながら、日本人の存在論、感覚論に触れ、風景の危機、人間の危機に言及している。</li> </ul>
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>「チンパンジーは『おせっかい』をしない」「そもそも心とは何か」「議事録を作る」「アノマロカリス」「権力にまつわる「秘密」」「風の風景」「全国高校生「四字熟語」総選挙」に関連する動画、音声、画像等に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。</li> </ul>
ユニバーサルデザインの視点	記載なし
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に「各教材の活動等一覧」、「この教科書で学習するために」を掲載し、学び方や各教材での活動と各領域との関係を示すことで見直しをもって学ぶことができるよう工夫されている。</li> </ul>